

# コミュニティバス利用促進意見交換会（二子地区）

2011年2月24日 13:30～14:30 二子地区交流センター

北上市企画部政策企画課より、あいさつとこれまで行ってきた話し合いの説明があり、コミュニティバス利用促進意見交換会が開催されました。

## 次年度のコミュニティバスの運行方法および目標人数について



### ポイント1

#### 企画～運営～運行～利用促進の「主体」の考え方

- ・運行モードにより各主体は異なる

### ポイント2

#### 地域マネジメントの視点の確認

- ・地域は利用・企画・運営（利用促進）を地域マネジメントの視点から推進

### ポイント3

#### モニタリング及びチェックのサイクル(案)の共有

- ・地区の乗降人数を指標とし、モニタリング及び対応策の検討

#### 二子地区の目標人数は

一日当たり **36人** となります。

また、いわてNPO-NETサポートより、コミュニティバス利用促進のための他市の事例紹介がありました。

## 意見交換

過疎地有償運送について、二子地区でも過疎とみなされることはあるのか。

交通空白地帯という状況での「過疎」ということで、営業所等がないような所を指す。

和賀地区の乗り合いタクシー、口内地区の過疎地有償運送には市の助成は入っているのか。

いずれも入っていない。乗り合いタクシーは、来年度からは地域とともに改善の方策を検討する。

口内地区の過疎地有償運送については、地域自らが補助金をとってきて実施している。

チェックのサイクルが1年半とあるが、途中の見直しはあるのか。

途中、乗降状況の確認をし、協議の場を設ける。

区単位での集まりの際、市に来てもらい、バス利用促進策を説明してほしい。

日程調整のうえ、伺うこととする。

まちなかへ行く乗客が通院だけではなく、気軽に喫茶を楽しんだり、休んだりできる場所はあるのか。あるとすれば、よりPRをした方が良い。

情報発信やPRが必要である。また、目標人数を考えると、新しい乗客を増やす方策も必要である。

路線バスとコミュニティバスで、回数券の併用はできるか。

回数券は不可だが、バスカードは可である。販売場所のPRも必要である。

まちなかに行くことだけでなく、二子地区にバスで来てもらう工夫も必要では。乗ってもらう、来てもらう取り組みを積極的に進めていきたい。

朝市に来てもらうなどの取り組みも考えられる。それは地域活性化にもつながる。